

R5 深川農業ステップアップ推進事業の概要

○現状及び課題

深川市農業は、基幹作物である米のほか、土地利用型作物である小麦・大豆・そば、高収益作物である野菜・花き・果樹等の生産振興と定着化を推進

しかし、全国的に米の消費量が減少し、産地間競争が一層激化する中で、農畜産物価格の低迷などによる農業所得の減少、農業従事者の高齢化、担い手不足、労働力不足など厳しい環境下にあるのが現状

さらに、新型コロナウイルス感染症の拡大により、農畜産物の在庫の滞留・価格低下、需要減退等の影響が広がっていることから、生産者の所得確保・経営基盤の維持のため、より一層の消費拡大推進対策を講じていくことが必要



○展開方向

- ・高品質な農産物や安全・安心な農産物の安定生産を通じた『農産物の高品質化等』
- ・高齢化や担い手不足、低コスト生産に対応した『生産体制の整備』の一層の推進
- ・高品質な農畜産物や米のブランド化を通じた『農産物の消費拡大』

【農業経営の安定化】※ 主要事業の取組み

地元農産物の消費拡大に向けた事業の推進、国や道の制度を有効活用した地域の農業所得の確保、産業経営の体質強化や安定化を図ります。

農産物の高品質化等

低タンパク米生産拡大推進に要する経費
(土壌分析) 助成

温湯種子消毒促進事業
温湯種子消毒施設の使用料助成

生産体制の整備

輪作体系確立支援経費
(土壌改良剤購入助成)

園芸作物生産体制強化促進
(ビニールハウス資材購入助成)

I C T 導入促進事業
生産性の向上を図るための技術導入等への助成

地域振興作物導入促進
新規作物の取組に対する助成

水張面積維持拡大支援
転作田の均平化作業に対する助成

労働力確保体制整備促進
新たな労働力受入体制整備等に対する助成

農産物の消費拡大

深川産米等消費拡大対策
・深川産農産物消費拡大
・深川産農産物 P R 対策・販売拡大経費



- 実需者の要望に応じた農作物の生産拡大
- 農作業の効率化や資材投資の低減などによる経営の安定化
- 販路の開拓・拡大による深川産農畜産物の消費拡大



深川市農業・農村の活性化

【R5年度深川農業ステップアップ推進事業 見直し・拡充等の内容】

- 園芸作物生産体制強化促進事業の拡充
 - ・青果、花き用ビニールハウスの上限額を1棟150万円に引き上げ
 - ・育苗用施設利用料に対する助成